

(本発表のお問い合わせ先)
公園緑地課
広報資料取扱主任: 田渕 俊郎
電話 087-839-2494

【市長定例記者会見】高松市中央公園再整備工事に伴う 地下駐車場の利用制限について

1 主旨

中央公園については、令和9年夏のリニューアルオープンを目指し、再整備工事を実施しているところですが、施工方法や安全対策などについて、関係者間で協議を行った結果、地下駐車場の利用者の安全を確保するため、一部利用制限を行うこととなりましたのでお知らせします。

2 利用制限内容

地下駐車場(321台)について、中央公園再整備工事の進捗状況に合わせて、段階的に、エリア分けを行いながら、駐車場の利用を制限します。

なお、具体的な制限内容については、随時HP等でお知らせいたします。

期 間	利用制限台数	利用可能台数
～令和7年11月中旬	約80台	約240台
令和7年11月中旬 ～令和9年夏	約170台～約220台	約100台～約150台

■添付資料:

- ・【資料1】中央公園再整備工事スケジュール
- ・【資料2】駐車場利用制限図
- ・【資料3】市民周知用ポスター

中央公園完成イメージ



わんぱく広場



資料 1

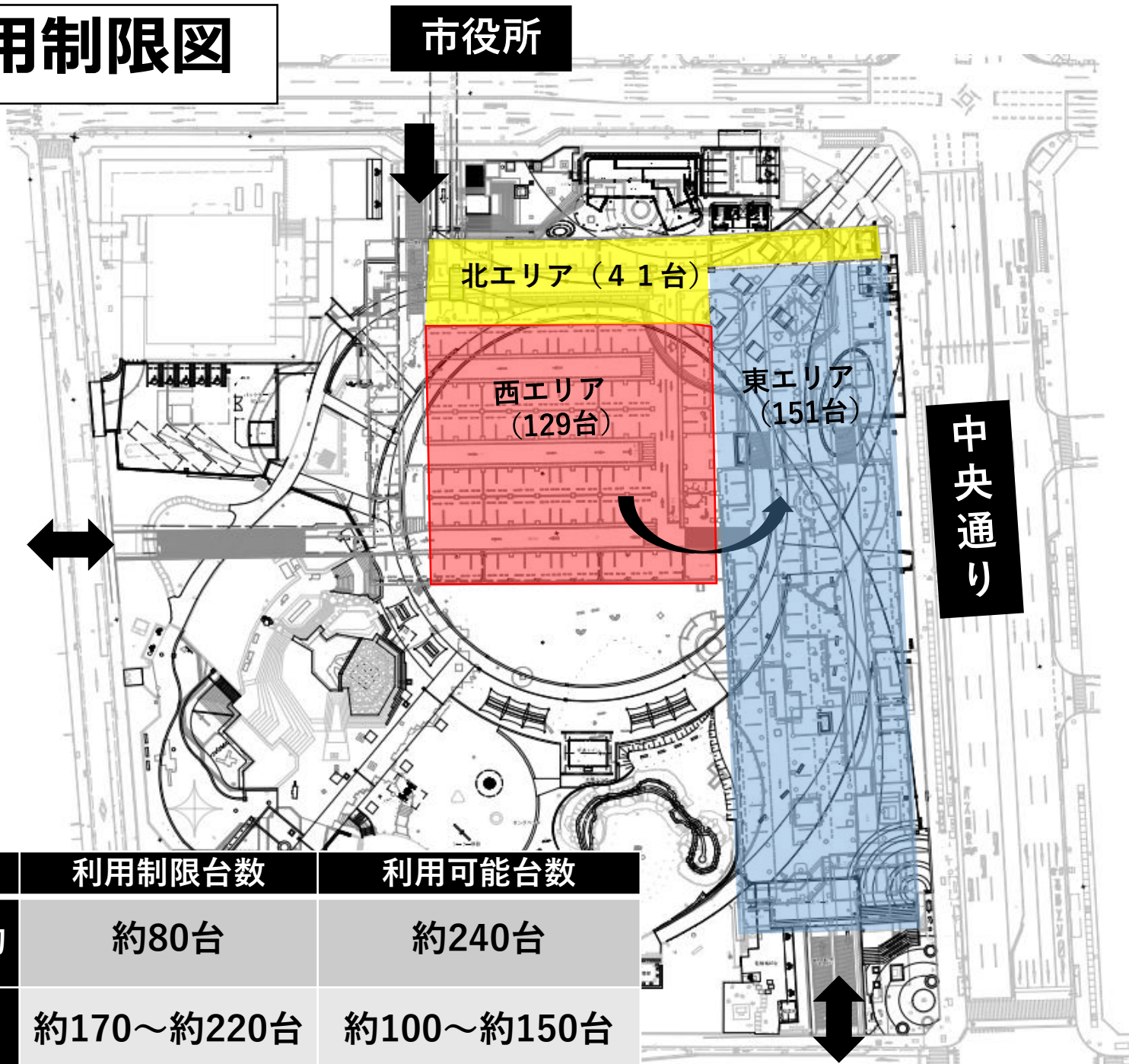
工事期間中、段階的に地下駐車場（321台）の利用制限を行い、利用可能台数が現在の半数以下になる見込み。

内容	R7				R8				R9		
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10
公園再整備工事	【6月】工事契約 再整備工事 【R9夏】リニューアルオープン予定										
地下駐車場利用制限 (～11月中旬)	9月18日～11月中旬 利用制限約80台（利用可能約240台）										
地下駐車場利用制限 (11月中旬～)	※施工状況に応じて、エリア分けを行いながら、利用制限を行う。 令和7年11月中旬 ～ 令和9年夏 利用制限170～220台（利用可能100～150台）										

駐車場利用制限図

市役所

資料 2



○現在、北エリア及び西エリアの一部、**約80台**を利用制限中。

○今後、施工状況に応じて、**西エリア・東エリアを交互に利用制限**を行う予定。

※身体障がい者用・思いやり駐車スペースは、必要台数を確保します。

※具体的な制限内容については、随時HP等でお知らせします。

期間	利用制限台数	利用可能台数
～令和7年11月中旬	約80台	約240台
令和7年11月中旬 ～令和9年夏	約170～約220台	約100～約150台



中央駐車場 利用制限中！

中央公園再整備工事に伴い、地下駐車場利用者の安全を確保するため、駐車場の利用を一部制限します。

この間、御不便をおかけしますが、御理解・御協力をお願いします。

■利用制限期間：令和7年11月中旬

～ 令和9年夏頃（再整備工事完了まで）

■駐車可能台数：現在約320台 ⇒ **約100台～150台へ制限**

市民の皆様へ3つのお願い！

1 総合センター・支所・出張所等の利用

市民の皆様の身近な行政窓口である、「総合センター」、「支所」、「出張所」「市民サービスセンター」などでも各種手続きを行うことができます。

※取り扱う業務及び待ち人数等については、高松市 HP を御覧ください。

※瓦町駅地下駐車場については有料になります。（減免措置はありません）

■総合センター等 HP



■市民サービスセンターHP



2 公共交通機関の利用

市役所にお越しの際は、公共交通機関の御利用をお願いします。

※最寄りのバス停：高松市役所／五番町



3 駐車場満空情報アプリの活用

中央公園地下駐車場は混雑が予想されますので、周辺の駐車場の御利用をお願いします。（香川県番町地下駐車場（高松高校地下）など）

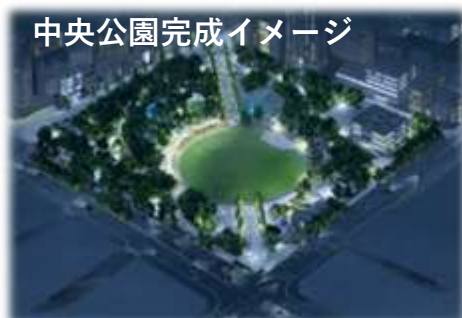
※駐車場満空情報アプリケーション「どこ駐車ナビ高松」で周辺の公共駐車場等の混雑状況が確認できますので、御活用ください。



■どこ駐車ナビ高松



中央公園完成イメージ



わんぱく広場

■中央公園再整備事業に関する情報はこちら



高松市公園緑地課

☎087(839)2494



Zero Carbon City
Takamatsu

(本発表のお問い合わせ先)

ゼロカーボンシティ推進課

広報資料取扱主任: 藤澤 直子

電話 087-839-2393

【市長定例記者会見】 県内初！官民連携でのアクセルトレーニングをスタートします

本市では、「ゼロカーボンシティ宣言」を行って様々な脱炭素の取組を実施しております。
この度、本市のCO2排出量の割合が最も多い運輸部門の脱炭素化対策として、
県内では初めて、市内事業者と連携して「アクセルトレーニング」に取り組みます。

■参加者

- ①株式会社タダノ : 10月29日(水)開始 ・ 普通車10台
(ミニバン1、ステーションワゴン2、セダン2、コンパクトカー1、軽自動車3、電気自動車1)
- ②株式会社百十四銀行 : 10月29日(水)開始 ・ 普通車6台
(セダン3、ステーションワゴン1、ミニバン1、コンパクトカー1)
- ③四国電力株式会社 : 10月29日(水)開始 ・ 普通車5台
(ミニバン2、セダン2、SUV1)
- ④四国電力送配電株式会社 : 10月29日(水)開始 ・ 普通車4台
(ミニバン1、ステーションワゴン1、SUV1)
- ⑤高松信用金庫 : 10月29日(水)開始 ・ 普通車3台
(軽自動車1、ステーションワゴン1、コンパクトカー1)
- ⑥高松市役所 : 10月30日(木)開始 ・ 公用車10台
 - ・総務局総務課: 軽貨物車
 - ・資産税課: 軽貨物車
 - ・障がい福祉課: 軽乗用車
 - ・介護保険課: 軽乗用車
 - ・こども女性相談課: 軽乗用車
 - ・環境業務課: 軽ダンプ
 - ・西部クリーンセンター: 軽貨物車
 - ・農林水産課: 軽貨物車
 - ・スポーツ振興課: 軽貨物車
 - ・道路管理課: 軽貨物車



車載機



アプリ

「accel trainer」

【協力企業】東京海上日動火災保険株式会社

●アクセルトレーニングとは

アクセルトレーニングとは、「自動車の発進時に時速20kmに到達するまで5秒かける」というアクセル操作を習慣化することで、安全運転と脱炭素の2つの効果を発揮しようとする取組です。

自動車を運転する際、急発進や急加速は燃料を余分に消費させ、CO2排出量の増加につながります。しかし、アクセルトレーニングによって、緩やかで安定した運転を習慣にすることで、燃料消費を抑えることができ、その結果、排出されるCO2が減少し、脱炭素社会の実現に寄与することができます。

また、自動車の加速を滑らかにすることによって、前方車両との車間距離が適切に保たれ、追突事故や急ブレーキによる衝突事故のリスクが減少し、交通安全にも効果を発揮します。

■リンク

アクセルトレーニング(外部リンク)株式会社A. R. M. S.

<https://www.acceltrainer.jp/>